

# 競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2022 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

## 2 練習について

- (1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で、日程に従い実施すること。
- (2) 各練習場において、逆走及び牽引ロープ・ミニハードル・マーカーコーン等の器具を用いた練習は禁止する。
- (3) 競技場外のジョギングコースでの逆走、スパイクの使用、ハードルの設置は禁止する。
- (4) 本競技場の芝生内での投てき練習は一切禁止する。

## 3 室内練習場使用上の注意

- (1) 走練習のみとし、砂場は使用禁止とする。
- (2) 走る方向は、東側（1500m スタート側）から西側（200m スタート側）への一方通行とする。
- (3) 用具（ブロック、ハードル等）の持ち込みは禁止する。
- (4) 室内練習場内での、シート・荷物などを置いての場所取りは禁止する。

## 4 招集について

- (1) 競技者招集所は、本競技場第 2 ゲート外側（1500m スタート付近）に設ける。
- (2) 競技者は招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際係員にアスリートビブス・氏名・校名とスパイクピンの点検を受け、競技者係の指示に従って移動すること。なお、招集後は、待機場所を離れないこと。

トラック種目	招集開始時刻 (点呼開始)	招集完了時刻 (移動開始)	フィールド種目	招集開始時刻 (点呼開始)	招集完了時刻 (移動開始)
予 選 決 勝	競技開始 25分前	競技開始 15分前	跳 躍 投てき	競技開始 40分前	競技開始 30分前
			棒高跳	競技開始 70分前	競技開始 60分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなし、出場を認めない。
- (4) 2 種目を同時に兼ねる競技者は、2 種目同時出場届を競技者係（招集所）に提出し、競技の進行に支障のないようにすること。
- (5) 入退場時の移動は、競技役員の指示に従い規律ある行動をとること。トラック競技において、スタート地点に戻る場合は、競技場の外または、ダッグアウトを通過して戻ること。
- (6) リレーのオーダーは、招集完了時刻の 1 時間前までにオーダー用紙を競技者係（招集所）に提出すること。
- (7) 出場種目を棄権する場合は、監督会議時またはその競技種目の招集開始時刻までに棄権届を競技者係（招集所）に提出すること。

※オーダー用紙、棄権届、2 種目同時出場届は招集所に準備している。

5 競技・競技用具について

- (1) アスリートビブスは各種目とも、胸・背部両面に付けること。ただし、跳躍競技については背（胸）部に1枚でもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ビブスを使用する（右腰臀部）。ただし、4×100mRの第1、第2、第3走者と4×400mRの第1走者は腰ビブスを使用しない。また、4×400mRにおいては、第2、第3走者は左腰に腰ビブスを使用する。
- (3) 男子5000m・女子3000m・男女5000mWは別ビブスを使用する。別ビブスは主催者が用意する。選手は、招集時に自分のアスリートビブスを持参し、競技者係から別ビブスを受け取ること。
- (4) トラック競技における走路順およびフィールド競技の試技順、プログラム記載順序による。ただし、決勝の組み合わせ及びレーン順の決定は主催者で行う。
- (5) 跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりとする。（天候などにより変更することがある）

種目	練習	1	2	3	4	5	以後1人になるまで
走高跳（男）	1m70 1m90	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	3cmずつ
走高跳（女）	1m40 1m55	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	3cmずつ
棒高跳（男）	3m20 4m00 4m40	3m30	3m50	3m70	3m80	3m90	10cmずつ
棒高跳（女）	2m00 2m50 3m00	2m00	2m20	2m40	2m50	2m60	10cmずつ

1位決定におけるバーの上げ下げは次のとおりとする。

走高跳 2cm      棒高跳 5cm

三段跳びの踏切板は、男子12m、女子9mに設置する。

- (6) 競技用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳のポールは、個人所有のものを使用することができる。また、投てき用具については検査の上、個人のものを使用を認める。投てき用具の検査は、競技開始90分前から60分前までに100mスタート付近の倉庫内で行う。なお、その投てき用具については、検査後、競技終了までは主催者側で預かる。
- (7) ビデオ、音楽プレーヤー、携帯電話もしくは類似の機器等の競技場内への持ち込みを禁止する。
- (8) 危害防止のため、セパレートレーンの競走競技においては、フィニッシュライン通過後は自己レーン（曲線）に沿って進むこと。投てき競技においては、審判員の指示以外に勝手に練習しないこと。
- (9) スパイクシューズのピンは、全天候舗装用で11本以内とし、長さは9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投は、12mm以下とする。

シューズ底の厚さは以下の範囲内とする。競技者係で検査を受けること。

種目	シューズ底最大の厚さ
800m未満のトラック種目（ハードル含む）	20mm
800m以上のトラック種目	25mm
競歩	40mm

※日本陸連の通達により2023年3月までの適用除外措置として、フィールド競技用シューズの靴底厚確認のための計測は不要とする。

- (10) 4×100mRの第2、第3、第4走者は、主催者が用意するマーカー（1個）を使用すること。

## 6 スタートについて

- (1) 不正スタートについてはTR 16.7 を適用する。ただし、TR 16.5.1～3 および腰・大腿部・膝等が一瞬動いた動作は注意にとどめる。

## 7 その他

- (1) 大会運営上に支障、問題が生じた場合は五県委員で協議して解決にあたる。抗議は、競技規則 146 条により、結果の正式発表後 30 分以内に、また、次のラウンドが行われる競技では 15 分以内に各県監督または当該競技者の監督から審判長に対して口頭で申し出ること。
- (2) 各種目とも、上位 3 位までに入賞した選手は、表彰を行うので正式アナウンス終了後ただちに（本人が他の種目に出場の場合は代理人）エントランスホールの表彰控席に集合すること。4 位～8 位の入賞者はエントランスホールにて受領すること。
- (3) 声を出しての応援は禁止する。競技の進行の妨げとなるような応援はしないこと。また、スタンド最前列に立っての応援は観覧者の迷惑となるので禁止する。
- (4) 本競技場での部旗、横断幕の掲揚については、メインスタンド、サイドスタンド、バックスタンドの最上部にのみ設置してもよい。
- (5) 観客席にシートやコーン、メガホンなど物を置いての場所取りは禁止する。また、中 2 階コンコースはシートのみでの場所取りは認めるが、通行の妨げにならないように注意すること。（テントは禁止）
- (6) 医務員は、競技場のメインスタンド下の医務室で待機している。大会出場中の急病・事故については、応急処置を行うが、それ以外の責任は負わない。
- (7) 記録の証明を希望する競技者は、大会本部受付に 500 円を添えて申し込むこと。
- (8) 貴重品の管理は、各校、各自で行うこと。紛失の責任は負わない。
- (9) 弁当の引き換えは、本競技場 1 階エントランスホール内で行う。
- (10) ゴミは各校・各自で持ち帰ること。競技場内に食べ物や飲み物の残りを放置しないこと。



速報サイトアドレス

<http://yaaf.jp>